

うたづ 議会だより

2024
第92号
5.1
香川県宇多津町



青ノ山山頂の桜

定例会「令和6年度一般会計補正予算」ほか	2
議員の賛否	3
討論の内容・町政を問う	4
委員会報告	5
一般質問「災害時の電力対策を問う」ほか	6
令和5年度政務活動費収支報告	15
議会と話そう!・議会だよりモニター募集	16

第1回臨時会

令和6年第1回臨時会は、令和6年1月24日に開催され議案2件を慎重に審議しました。

主な内容

令和5年度宇多津町一般会計補正予算（第6号）
8285万円

全会一致で可決

●電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援臨時給付事業
712万円

●物価高騰対策臨時給付金事業
7480万円

第1回定例会

令和5年第1回定例会は、令和6年2月29日から3月11日の12日間開催され議案14件、請願1件、同意1件、発議1件を慎重に審議しました。

主な内容

令和6年度宇多津町一般会計予算

70億5300万円

賛成多数で可決

【主な事業】

●ユープラザうたづ特定天井改修工事業
1億6799万円

ユープラザうたづの特定天井等の耐震改修工事及び施工管理

●部活動地域移行事業
1076万円

事務局にコーディネーターを設置し、関係団体との調整・指導者の配置等についての事業を拡充

●キッズプラザうたづ空調更新事業
1981万円

ガスエアコン等の更新。主に停電対応型のガスエアコンを導入

●電気自動車導入及び普通充電設備設置工事
416万円

公用車として、電気自動車の導入及び充電設備設置工事

●書かない窓口システム導入事業
420万円

マイナンバーカード等を活用し、住所や氏名などの記載を省略するための窓口システムを導入

●HELLO CYCLING事業
737万円

利用者の利便性と回遊性の向上を図るためのシェアサイクリングサービスを新たに実施

●病児・病後児保育利用料軽減補助事業
10万円

町民の病児・病後児保育の利用料負担を軽減するため、設置自治体住民との利用料の差額を補

助する制度を新たに創設

町道路線の認定

全会一致で可決

●長縄手開発道路、岩屋開発道路の2路線を認定

宇多津町副町長の選任

全会一致で同意

●副町長に高瀬誠氏を選任

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について
賛成多数で可決

●選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を衆議院議長他へ提出する

第2回臨時会

令和6年第2回臨時会は、令和6年3月19日に開催され同意1件を慎重に審議しました。

主な内容

宇多津町教育委員会教育長の任命

全会一致で同意

●教育長に中谷清氏を選任

第1回臨時会・第1回定例会・第2回臨時会の議案に対する議員の賛否

〈第1回 臨時会〉

○は賛成、×は反対、欠は欠席、△は採決退席

審 議 案 件	沼田	田村	藤本	宮本敦	神出	水本	井上	西本	大松	宮本隆
令和5年度宇多津町一般会計補正予算（第6号）	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	
宇多津町手数料条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	

〈第1回 定例会〉

初日採決

審 議 案 件	沼田	田村	藤本	宮本敦	神出	水本	井上	西本	大松	宮本隆
令和5年度ユーブラザうたづ特定天井改修工事請負契約の締結	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	

最終日採決

審 議 案 件	沼田	田村	藤本	宮本敦	神出	水本	井上	西本	大松	宮本隆
令和5年度宇多津町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の時のみ、裁決を行う
令和5年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度宇多津町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度宇多津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度宇多津町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度宇多津町一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和6年度宇多津町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度宇多津町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度宇多津町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度宇多津町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
宇多津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
宇多津町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
宇多津町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国へ提出することを求める請願書について	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
宇多津町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について	○	×	×	×	○	○	○	○	○	

〈第2回 臨時会〉

審 議 案 件	沼田	田村	藤本	宮本敦	神出	水本	井上	西本	大松	宮本隆
宇多津町教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

討論の内容

令和6年度宇多津町一般会計予算

【反対討論】

- ・同和関係の支出について、宇多津町に過去同和地区が存在していないうえ、他地区の同和行政終結に影響を及ぼしかねない。 神出議員

宇多津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

【反対討論】

- ・マイナンバーカードの個人情報保護の脆弱性が指摘されている。保険証がマイナンバーカードと一本化されることで、取得は任意とされるマイナンバーカードが事実上の義務化となることが危惧される。 神出議員

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国へ提出することを求める請願書について

【賛成討論】

- ・同姓と別姓を選択できることで、同姓に苦痛を感じていた人の苦難軽減につながり、住民福祉増進の観点から法制化に妥当性がある。 神出議員
- ・選択的夫婦別姓制度の法制化を求める中で議論が進む。国会で議論してもらうための意見書の採択である。 西本議員
- ・国際結婚などの受け皿をつくるためにも法制化は必要。 井上議員

【反対討論】

- ・国民世論が分かれているため慎重に議論すべき。請願書では、夫婦別姓の子どもの氏の選択や思いについて配慮できていない。 田村議員
- ・日本独自の伝統である同姓婚を続けるべき。 宮本敦夫議員

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について

【賛成討論】

- ・国会で法制化を求めていく積極的な議論をしていただきたい。請願者の願意を含んでおり意見書の内容は妥当である。 神出議員

【反対討論】

- ・国会で「議論の活性化を求める」に留めるべき。また、生まれてくる子どもの氏について国会での議論と法制化を同時に行うべき。 田村議員

町政を問う

(一般質問の件名)

宮本 敦夫	・災害時の電力対策を伺う ・四国新幹線について伺う	大松喜次郎	・デュアルSCのプールをどうするか ・子どもの近視の発症と進行の予防を
神出 佳宏	・さまざまな防災対策の課題は 他1件	沼田 友紀	・お誕生スペースの設置を 他1件
水本富美子	・町公式LINEの刷新を ・学校で実施の健康診断について	田村 充	・災害時協定の運用と自治体連携 ・公共施設予約・決済システムの導入 他2件
井上 弘治	・災害に強い財政 他1件	藤本 和代	・災害における対応は ・長縄手交差点改良に伴い
西本 祐子	・がん検診などの受診率アップを ・小中学生の血液検査のフォローは		

各委員会審議では様々な質疑が行われています。生活に密接な内容の一部を報告します。

総務建設常任委員会

令和6年度宇多津町 公共下水道事業会計予算

Q コロナの影響で大口の下水道料金猶予があり、過年度分収入が続いていたがいつまでか？

A 猶予分の納入は完了された。

教育民生常任委員会

令和6年度国民健康保険 特別会計予算

Q コロナ治療の公費負担がなくなり、薬価の高い治療薬などの登場で高額療養費が圧迫するなどの想定は？

A コロナの制限が緩和され、1人当たりの医療費は増えてきている。コロナの公費負担が終了しても、自己負担分が公費で賄われていたことから国保の会計に影響はない。高額の治療薬を想定しているわけではないが、1人当たり月に80万円を超えてくると、国からの補助がある。

令和6年度介護保険 特別会計予算

Q コロナ禍で利用控えが生じたが、介護保険サービスの利用ペースはコロナ禍前に戻っているか？

A 令和3年度から増え始め、直近ではコロナ禍前に戻っている。

総務建設・教育民生 常任委員会

令和5年度補正予算

Q 「学校における性被害防止対策」補助事業に関わるビデオカメラの使い道とは？

A 幼稚園での性被害防止を目的に購入、活用する事業が対象。

Q すくすくスクエアの遊具支払いが予定より減額だが理由は？規模縮小ではないのか？

A 入札の過程で安価となり、遊具の削減はしていない。

Q 結婚新生活補助金が減ってきているが余っているのは婚姻数の減少か？

A 令和4年は22件、令和5年は9件と減少しているため。

Q 放課後児童クラブで職員募集をしているが、現在基準は満たしているか？

A 基準は満たしている。シフトの関係上募集をしているが、中々応募がない実情がある。

令和6年度一般会計予算

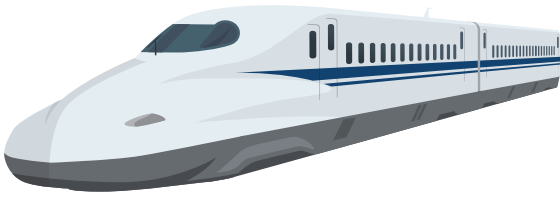
Q HELLO CYCLING(ハローサイクリング)事業の概要は？

A 自転車を活用した観光促進のために、新たに電動自転車の無人スタンドを設ける。自転車の購入費やメンテナンス費用である。

Q 部活動の地域移行は何部が対象となるのか？また指導者の報酬額は？

A 現在先行している柔道、剣道、野球、ダンスに加え、民間の指導者を含め、新たな部としてバレー、ソフトテニス、バスケット、バドミントン、卓球、吹奏楽などを想定している。報酬は国の算定基準の1650円/時で計上している。





みやもと あつお
宮本 敦夫 議員

災害時の電力対策を伺う

問 災害に対する最新情報など得る為に電機通信機器が必要であり、電力は必須、太陽光発電と蓄電池を設置した指定避難場所などの対策を伺う。

町有施設には設置していない。

問 南部すくすくスクエアやユープラザうたづの指定避難所認定協議も含め、今後の歳入歳出を鑑み、令和7年度から予算化し、効率的に新設、増設予定はあるのか。

北山危機管理課主幹 過去の地震状況を踏まえた上で、財政協議を行いながら今後検討していく。

問 公用車の買替時期にEV車等導入し被災地等移動しての電力供給のお考えは。

磯崎総務課長 災害時の非常用電源として活用もでき、環境負荷の低減と環境意識の啓発に繋がるものと考え、更新の際には導入費用やランニングコストを調査研究し購入について検討する。

北山危機管理課主幹 指定避難所の宇多津小学校、北小学校、中学校には設置。指定緊急避難場所の

四国新幹線について伺う

問 先日、四国新幹線に関する報道があった。谷川町長に、経緯、今後の取組みを伺う。

谷川町長 約50年前に四国新幹線の基本計画が策定され、瀬戸大橋が完成し、平成26年に四国の鉄道高速化連絡会が発足、

平成29年に、四国新幹線整備促進期成会が新設され、オール四国体制を敷き1日も早い整備計画への格上げと実現に向けて働きかけた。2037年を1つのターゲットとして開業を目指す決議がされ、四国4県が新幹線の必要性、重要性を共有し

て機運を高め醸成を図り、一丸となって国への要望を続けて行く事が必要である。基本計画には盛り込まれているが、整備計画になっていない状況である。

問 実現した場合、地元商工業者に経済効果が期

谷川町長 2037年までに観光事業や産業振興に力を入れ、地元業者が潤い、雇用促進、地域振興、歳入増加、住民増加定住するまちづくりを期待する。

待できるのか予想を伺う。



かんで よしひろ
神出 佳宏 議員

さまざまな防災対策の課題は

問 宇多津町の防災の課題の一つに液状化がある。

液状化はインフラや建物に深刻な問題を引き起こすが、町の防災ハザードマップでは県全体の液状化の想定がそのまま掲載され、本町の具体的な発生想定箇所が把握できない。

町での策定、県のもの解析でより具体的にわかるようにできるか。

北山危機管理課主幹 本町では平成25年県公表の液状化危険度予測図をハザードマップに掲載している。

広範囲で液状化の危険度かなり高くなっているが、発生箇所の特定は難しいとされている。かがわ防災Webポータルサイトで詳細な危険

箇所が見れ、ハザードマップにはQRコード、町HPにはリンク先を載せている。今後更新時に本町の予測がよりわかるものにする。

問 災害時の給水も課題である。本町でも道路寸断の際、給水の課題が予想される。被災者の迅速な給水確保手段を町はどう考えるか。

北山危機管理課主幹 災害時の飲料水確保はペットボトルの水を各指定避難所に合計約8000リットル分散備蓄しており、網の浦万葉公園と平山地区に整備した飲料水兼用耐震性貯水槽には各40リットル、合計80リットルの水道水が確保される。

問 課題には学校施設の老朽化がある。避難所の役割や災害発生直後の子どもたちの命の安全を守る役割がある。町では令和3年3月に教育委員会で学校施設長寿命化計画が策定、管理されているが、町として建て替えも含めた再検討の考えはあるか。安全性の担保や保

護者などが安心できる要素は。

原岡教育次長 耐震改修を行っており、コンクリート強度は最低基準をクリアしていることから、倒壊の可能性は現時点でかなり低いという認識である。

現時点で再検討は考えていないが、今後は全体の状況を見ながら検討していく。



みずもと 水本 議員
ふみこ 富美子

町公式LINEの刷新を

問 本町では、ホームページとLINEを活用した情報発信に取り組んでいるが、LINEを活用した情報発信をさらにブラッシュアップするために提案する。現在、公式LINEの防災防犯情報をタップした場合、目的の情報にたどり着くのに少々手間取る。そこで、災害時に町民一人ひとりが必要とする情報を、より早く受けられるよう、LINEページのさらなる刷新が必要と考えるが。

磯崎総務課長

本町公式

LINEは、主に町政情報や行事案内、広報誌の発行、災害時の防災情報発信として活用している。緊急性が高い情報については、必要な方へ必要

な情報を届けることができ、即時性がある点が強み。今後、配信数の増加や登録者数の増加により、LINEの有効性がさらに高まった場合検討していく。

他市町では、道路損傷等報告機能があり、被害状況発見者から送る機能がある。今後、本町でも費用対効果と他市町の事例も踏まえて検討する。

磯崎総務課長

他市町で

問 災害時、危険な現場状況を、写真で伝える機能を取り入れる事については。

学校で実施の健康診断について

問 文部科学省は本年1月、児童生徒の健康診断について、正確な診察に支障がない範囲で、原則上半身裸ではなく体操服等で体を覆うなど、子どもたちのプライバシーや心情に配慮した環境整備を行うよう通知を行った。

原岡教育次長

町内小中

学校では、男女別の診察、検査を実施。また診察時は周囲から見えないようカーテン等で囲い、養護教諭（現在、女性のみ）

現在の、本町の健康診断の状況について伺う。

が検査診察に立ち会っている。児童生徒は、体操服を着て待機等、文部科学省の通知にある、児童生徒のプライバシーに配慮した健康診断を行っている。

原岡教育次長

文部科学

省の通知に基づき対応するとともに、配慮について引き続き検討し、適切に実行していく。

問 性的マイノリティの点から男子への配慮も必要と考えるが。



井上 弘治 議員

災害に強い財政

問

令和元年92%だったが、令和4年では82%と低下している。この指標は、自治体の財政構造の弾力性を表していると言われる。この指標が高いとどんな状況か？阪神淡路大震災の兵庫県下の自治体を見ると災害からの復旧で市町の基金が底を尽き、多額の借金を充てる事になった。それにより長い間財政を苦しめる事になった。

最近の災害例を考えると、財政調整基金の分厚さが必要。

磯崎総務課長

この比率

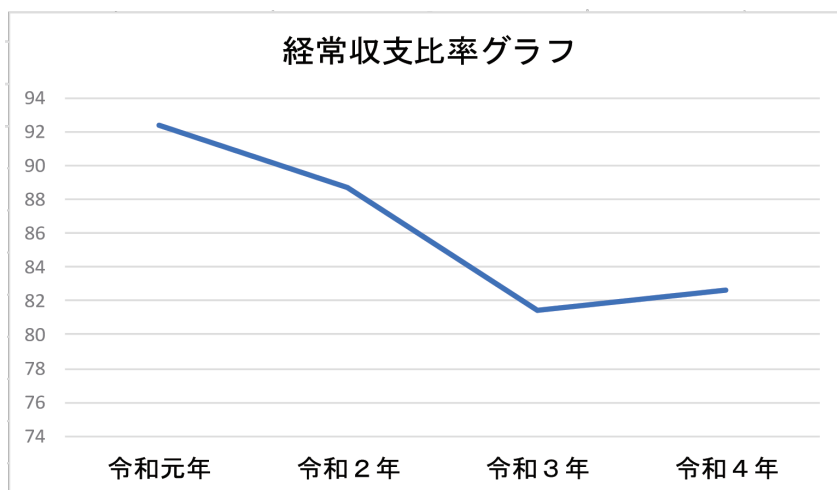
が高いと義務的な経費以外に使える財源が少ない。低いほど投資的な経費などに向ける財源に余裕がある。家計に置き換えると給与の収入に対し食費、家賃などの生活費の支出が高く、それ以外の支出に使えるお金が少なく、突発的な事故などの出費時に柔軟な対応が出来ない。

歳出の削減に努め財源の確保を図っていく。引き続き健全な財政運営に努める。

経常収支比率

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
92.4	88.7	81.4	82.6

経常収支比率グラフ





オレンジの封筒の健診ガイド
をチェックしてほしい

がん検診などの受診率アップを

健康診断やがん検診の申し込みは順調なのか。

6年度には中川先生の
がん講演会も行われる。
またWeb予約も可能に
なったので、さらなる受
診率向上を目指す。

井原健康増進課長 町では子宮頸がんの無料検診を21歳、26歳に拡大した。

問 昨年の「健康まつり」は家族連れが少なかったが。

小中学生の血液検査のフォローは

過観察ができるようにするとのことだったが、小学校でのフォロ―は中学1年での結果に反映されているのか。

近10年間で最も高い割合だった。中学1年生は脂質異常や高コレステロールなどは緩やかな増加傾向だった。

小学校で異常値だった子どものうち半数は改善がみられる。

問 子どもの生活習慣病はきちんと指導すれば短期間で治ると聞くが、家族に対して受診勧奨や再検査を進めているのか。健康教育の実施は。

原岡教育次長 再検査、再受診される方はそれほど多くない。「保健だより」で周知はしている。



だいまつ きじろう
大松 喜次郎 議員

デュアルSCのプールをどうするか

問 デュアル・スポーツセンターは平成11年に完成し、総事業費は約6億2千万円であった。1階は25mプール、2階は武道館となっている。現在、水泳の授業は角山温水プールを利用し、プールでは、卓球の部活をしている。コースロープなどの

用具もなく、機械設備も再稼働できないと思われる。プールの床を上げて体育館のようにすれば、部活もし易いし、時に合わせて多目的に使えるのではないか。また、この施設は指定避難所で、プール内も避難者の生活スペースになっている。階

段の昇り降りなどを考えれば、床上げが必要と思う。プールをどのようにするのか。

原岡教育次長 1階はプールとして、長年使用していないという状況から、再使用については難しい。指定避難所については、

小中学校の体育館とか当該施設の2階からの利用となると考える。1階をどうするかは、今後も検討を重ねて行く。床上げには多額の費用を要すると想定されるので、慎重な議論が必要である。

子どもの近視の発症と進行の予防を

問 令和4年度学校保健統計調査が公表された。全国の小中高校生の裸眼視力が1.0未満の割合は、いずれも過去最多であった。県内は、幼稚園児中

学高校生の全国平均を上回った。本町の状況と目の健康指導はどうか。また、視力検査で要受診の子どもの受診状況はどうか。

原岡教育次長 小学校4年から中学校3年までほとんどの学年で、1.0未満の割合が全国平均より高い。目の健康指導は、機会をとらえて周知している。例えば、学校発行の保健だよりで周知しているほか、町のタブレットを持ち帰りルールの中でも、30分に一度は遠くの景色を見るなど目を休ませる

問 本町の受診率は、全国平均より小学生で高く、中学生で低い。視力低下防止には

- ①目を疲労させない生活習慣の見直し
- ②視力低下に早く気づく
- ③眼科医の診察を受ける

原岡教育次長 引き続き、受診勧奨と周知啓発に積極的な対応をとって行きたい。

である。今以上に工夫しなければと思う。



沼田 友紀 議員
ぬまた ゆき

お誕生スペースの設置を

問

出産の際の届出は出生届のみではなく、多岐に渡る。出生届は出産後14日以内、児童手当の手続きに関しても15日以内の手続きが勧められており産後間もない期間での来庁と手続きが必要となる。各課を回りそれぞれの書類を記入することは負担が大きい場合もある。以前、「おくやみスペース」の設置について「ワンストップで手続きができるように各課で連携をして対応していく」という答弁があった。出産の際の手続きにも同様の対応をしてはどうか。

小西住民生活課長

手続き

に関しては必要に応じ担当者が出向くなど柔軟な対応を行っている。ワンストップで手続きができるよう今後も引き続き各課が連携して、来庁者の負担を最低限にとどめ、窓口サービスの構築を図るよう努めていく。

問

各種届出に応じて必要なものも多岐に渡る。例えば各種手当の振込口座も口座の名義が指定されるため、事前に持ち物を把握し用意しておかなければならない場合も多々ある。

母子手帳とともに配布される「ガイドブック」に産

小西住民生活課長

案内パ

ンフレットについては、関係各課と協議を行い対応を検討したい。そちらができたならホームページ等でも対応をしたいと考えている。

後の手続きについて記載があるため、手続きに必要なものも載せておく、ホームページに一覧として記載するなど、出生届を出す際に各種手続きに必要なものを全て揃えた状態で来庁いただき、何度も役場へ足を運ぶことがないようにしてはどうか。



たむら みつる
田村 充 議員



災害時協定の運用と自治体連携

問 宇多津町地域防災計画によると地域の団体や民間企業等と災害時連携協定が50余りある。「想定外」ではない。より現実的に協定締結後のフォローや運用の見直しをしているか。

が大事だ。協定締結の際はフォークラスされるがその後が見えにくい。締結をしたままになっているケースは。

北山危機管理課主幹 50余り全て見えているわけではない。今後精査し修正を行っていく。

問 自治体連携で岐阜県岐南町との協定があるが日頃の交流は。

北山危機管理課主幹 平成24年に締結、翌年に職員が防災訓練の視察、平成

26年に自治会連合会との交流。現在では台風等で職員が情報交換している。

問 平成26年以降、宇多津の町も大きく変わっている。行き来だけが交流ではないが、町の特性を理解した上で発災後の関わってくれることが望ましい。岐南町以外の協定は？

北山危機管理課主幹 予定はない。本町が発災の際は国の制度である応急対策職員派遣制度の活用をする。

問 決して災害を望まないが全国のさらに幾つかの自治体と協定を結び、宇多津から駆けつけることで町の防災対策の蓄積になる。次の世代のために組織として仕組みを作っては。

谷川町長 これまでも岩手県陸前高田市、佐賀県武雄市など、多くの自治体支援をしている。自治体との関係を大切にした

公共施設予約・決済システムの導入

問 町の施設利用にあたってオンラインで予約や決済ができる行政サービスの促進になるので提案したい。現在5時までの窓口予約、納付書で現金払

い、現地では空いているも使えないは「マジで使いにくい」。

磯崎総務課長 現在のシステムでは予約状況を確認する運用にとどまっている

るが昨年11月にオンライン決済機能が追加された。従って対象施設の追加やオンライン決済機能導入を検討している。

問 施設の性質で担当課が縦割りになっている。

磯崎総務課長 窓口手続きはある程度集約している。予約システム一元化で住民の利便性向上につながると考えている。



ふじもと かずよ
藤本 和代 議員

災害における対応は

問 町内に一時的な避難場所として、指定緊急避難場所（コミュニティ分館・施設・公園）がある。指定避難所が遠い、動けない、家の近くで居たいなどの思いの中、一時的な緊急避難所はどの期間使用できるか伺う。

によつては緊急避難場所
で避難生活をする可能性
はある。

問 能登半島地震で指定避難所だけでは不足していた。指定緊急避難場所での避難生活をする場合、物資は届くか伺う。

問 避難所の備蓄物資の基準はあるか伺う。

北山危機管理課主幹 香川
県の公表による避難所での避難者数は2300人で想定されている。

1日目用を町で備蓄。

2日目・3日目用は流通
備蓄。4日目以降は救援
物資での対応としている。

本町備蓄分は指定避難所
4箇所に分散している。

問 能登半島地震で備蓄不足や救援物資が届かない問題があった。

北山危機管理課主幹 災害
種別毎の適否を調査し、
指定していきたい。

北山危機管理課主幹 国の
基本計画や県の被害想定
の見直しがされた際に検
討する。

問 南部地域は開発によ
り人口が増えている。

南部すくすくスクエア
を避難場所として指定す
べきと考えるがどうか？

北山危機管理課主幹 指定
緊急避難場所の使用期間
に明確な決まりはなく、
余震等状況を注視しなが
ら、物資を備えている指
定避難所へ移動すること
になる。しかし被災状況

北山危機管理課主幹 人的
余裕があれば届けられるが、
取りに来てもらう場合も
ある。ただ高齢者等要配
慮者のみの避難の場合、
何とか届けていくことに
なる。

長縄手交差点改良に伴い

問 南部地区の開発で宇
多津小学校の児童が増加
している。通学路におけ
る子供の命を守る為、歩
車分離式交差点となつた
が、車両利用者には不便

で交通渋滞がおきている。
細道である網ノ浦鍋谷線
に抜ける車両も多く見る。
拡張に伴い現在の歩車
分離式の押しボタン式へ
移行出来ないか伺う。

小西住民生活課長 県道側
に右折レーンが設置され
る計画です。信号機の変
更等は状況を調査・研究
し所管警察、公安委員会
と協議したいと考える。



令和5年度政務活動費収支報告

年額は15万円、新人議員は4月分を除くため13万7500円です。

氏 名 総 額	内 容 (場所)	精算額
沼田友紀議員 10,040円	・ コンパクトタウン議会サミット (岡山)	10,040円
田村 充議員 108,630円	・ 新人議員研修 (大阪) ・ 地方議会サミット2023 (オンライン) ・ 市町村議会議員研修 (滋賀) ・ コンパクトタウン議会サミット (岡山) ・ 市町村議会議員特別セミナー (オンライン) ・ 全国研究集会 (香川) ・ 市町村議会議員特別セミナー (オンライン) ・ 地方議会研究会 (オンライン)	19,750円 10,220円 29,330円 12,700円 2,000円 2,630円 2,000円 30,000円
藤本和代議員 137,500円	・ 新人議員研修 (愛知) ・ コンパクトタウン議会サミット (岡山) ・ 地方議会研究会研修 (山口) ・ 地方議会研究会研修 (東京)	27,640円 14,500円 43,700円 51,660円
宮本敦夫議員 122,530円	・ 1年目議員のために研修会 (滋賀) ・ 自治体財政研修会 (滋賀) ・ コンパクトタウン議会サミット (岡山) ・ 自治体財政の見方研修会 (滋賀) ・ 書籍『議員活動新人研修資料・データ』ほか	28,620円 30,740円 14,500円 27,490円 21,180円
神出佳宏議員 122,055円	・ コンパクトタウン議会サミット (岡山) ・ 地方議会議員研究会研修 (山口) ・ 地方議会議員研究会研修 (東京) ・ 書籍『2024春闘白書』	12,700円 49,355円 58,900円 1,100円
水本富美子議員 14,500円	・ コンパクトタウン議会サミット (岡山)	14,500円
井上弘治議員 5,000円	・ コンパクトタウン議会サミット (岡山)	5,000円
西本祐子議員 75,950円	・ 日本自治創造学会研修 (東京) ・ コンパクトタウン議会サミット (岡山)	61,450円 14,500円
大松喜次郎議員 14,500円	・ コンパクトタウン議会サミット (岡山)	14,500円
宮本 隆議員 82,400円	・ コンパクトタウン議会サミット (岡山) ・ 地方議会議員研究会研修 (東京)	12,700円 69,700円

令和6年1月29日(月)にやすらぎプラザにおいて『議会と話そう!』を開催しました。

『議会と話そう!』は皆さまの身近なご意見、ご質問などをお聞きして今後の議会活動につなげていくことを目的としています。

はじめに総務建設常任委員会から議会報告、続いて教育民生常任委員会から報告をして意見交換をさせていただきました。

民生委員をしていた頃に担当地域に外国人の家族が何組かいた。子どもの様子をみていたら日本語ができず当時の学校や校長先生が、かなり困っていた。

中学校ができて間もなく60年を迎えるくらいだと思うが、建て替え、耐震などは大丈夫か。

高校生まで医療費無料化となっているが、夜間、休日に病院に行ったら自己負担があったという話を聞いた。なぜ自己負担がかかるのか説明をお願いします。

議会と話そう!

町の防災対策で現状のハード対策の取り組みはどうなっているのか。

万葉公園の中に防火水槽の工事をした。その時になぜ貯水槽の工事を一緒にしなかったのか、説明をお願いします。

南海トラフ大地震では広範囲で被災するといわれる。実際に町はどのように考えどこまで出来ているのか。

貴重なお話を聞かせてくださり、伺った意見に回答させていただきました。これからの議会活動の気付きとなりました。

参加していただいた皆さまには、ご多忙中の所ご参加していただきまして有難うございました。

議会だよりモニター募集

今年度、宇多津町議会では議会だよりモニターを募集します。

年4回発行される議会だよりをお読みいただき、アンケートにお答えいただきます。

募集対象 町内に住所を有する18歳以上のかた

募集人数 若干名

応募締切日 令和6年5月31日(金) 午後5時

応募方法 所定の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、下記にご提出ください。

宇多津町議会事務局宛(住所 宇多津町1881番地 TEL 49-8014)

あとがき

議会だより92号をお読み頂き有難うございます。今号の大目玉は令和6年度の予算でした。コロナ前、コロナ中、コロナ以降とそれぞれ分析を踏まえ今後どんな方向性で調整を進めていくのか?様々な視点がありました。これから転入や転出も増えます。この町から転出される方には『この町に住んでいて良かった』と思われるように。またこの町に転入される方には『この町を選んで良かった』と思われるように。そしてどこに引っ越ししようかと計画している方には『この町で新たなスタートをしたい』と思われるように。一步一步進めて行きたいと思っています。(井上 弘治)

議会広報編集委員会

議長	宮本 隆
発行責任者	
委員長	神出 佳宏
副委員長	井上 弘治
委員	沼田 友紀
委員	田村 充
委員	藤本 和代